

お知らせ

『改正NPO法』成立!

～「認定NPO法人」が取得しやすくなります～

NPO法改正案が6月15日に国会で可決されました。参院本会議および記者会見には岸田も出席。その様子は、下記のホームページでご覧いただけます。

http://www.ourrolanet-tv.org/?q=noda/1112

平成24年度から導入される主な内容は、①活動分野が増加(観光の振興、農山漁村及び中山間地域の振興などを追加)、②認定NPO法人の所轄庁が国税庁から地方団体(都道府県)に変わり受付等が簡易化、③認定取得要件に、「年3000円以上の寄付者が100人以上」等が加わり大幅に緩和、④仮認定制度により、設立5年未満でも寄付金の取り扱いが認定NPO法人と同等、⑤NPO法人会計基準により「活動計算書」での報告となり、NPOに対する信頼性が向上。

さらに、22日には新寄付税制(寄付金税額控除)も成立し、認定NPO法人への寄付金に対する税額控除(または所得控除)が導入されることになりました。(成瀬)

岩手県 遠野からの手紙

東北被災地視察調査で、「第6回パートナーシップ大賞」入賞団体のNPO法人遠野山・里・暮らしネットワークへ伺いました。その直後に届いた手紙(抜粋)をご紹介します。

NPO法人パートナーシップ・サポートセンター 代表 岸田 眞代 様

謹啓、お元気で過ごしていることと思います。この度は皆さまの真心がたっぷりの募金をいただきまして大変ありがとうございました。

今、遠野は被災地域の後方支援基地としての役割を果たすべく頑張っているところです。私たち、民間のNPO法人や、青年会議所、個人の会社、遠野に入っているNGO、NPO等様々な団体としての「遠野まごころネット」を作り、社会福祉協議会との連携で、できるだけ、様々な活動が一体的に動くような仕組みを作って活動を始めました。

頂戴いたしました、募金は、そういった活動の中で、有効に活用したいと思っております。使途につきましては後日ご報告いたします。

皆さまはテレビ等の報道で見ていただいていると思いますが、現地はまだまだ悲惨な状況です。これからますます厳しい時を迎えなければならないと思うと、言葉には表せないくらい重い試練が待ち受けております。しかし、そうばかりは言っておられません。皆さんと力を合わせて頑張っていきたいと思っております。毎日毎日一生懸命頑張りながら1日も早い復興に微力ながら頑張ります。

この度の皆さまのご厚意は必ずや、被災地に温かい心となって届くと思っております。本当にありがとうございました。時節柄皆さま方におかれましてはお体ご自愛のほど祈念申し上げます。敬白

平成23年6月20日

NPO法人 遠野山・里・暮らしネットワーク 菊池 新一

※遠野の現状報告については、3P「PSC代表岸田の東へ西へ」参照



支援物資がボランティアを支える



▲ボランティアの最前基地遠野市。朝7時半、ボランティアが集まる

PSC会員紹介6

東海ゴム工業株式会社

良き企業市民としての社会貢献活動

東海ゴム工業は、CSR委員会の下の5つの委員会の1つとして、社会貢献委員会を置いています。取り組みの考え方は、目指す姿として「寄付型から参画・協働型の活動」「1人1人の従業員参加型の活動」を掲げ、5つの重点分野を定めています。今回は、その中から高い評価をいただいている活動をご紹介します。

■障がい者福祉■

昨年「第7回パートナーシップ大賞」でパートナーシップ賞を受賞した介護施設でのビューティーキャラバンがいちばんですが、もう一つ、4年目を迎えた東海ゴム「さんさん出前劇場」をご紹介します。

知的障がい者のみなさんは観劇する機会になかなか恵まれません。それならいっそこちらから出前をしようとの発想から、名古屋のプロ劇団「ひと組」さんとの協働で年間10施設を公募、訪問しています。



■青少年の育成■

東海ゴム工業の本社のある小牧市は、9000名の外国人のみならず多文化共生が課題の都市です。昨年より、外国人子弟の就学準備スクールを小牧市国際交流協会と協働で開催しています。指導員の養成講座を開き、広く市民からボランティアを公募し養成することから始め、厳しい選考の上、指導員を有償ボランティアで市内の保育園へ派遣、子どもたちとその保護者に日本の小学校のルールや日本語など、自前の教材をふんだんに使って楽しく教えています。



その他に、12回目を迎えた1300名を招待するチャリティーコンサート、地域との交流も盛んな「東海ゴムの森づくり」など、いろいろな活動をしています。それを支えるのは従業員のボランティア団体「TR1あったかクラブ」の会員です。

(社会貢献推進室長 戸成司朗)

企業データ

東海ゴム工業株式会社 社会貢献推進室 小牧市東三丁目1番

http://www.tokai.co.jp/index.html

ぜひ、東海ゴムのホームページをご覧ください。(社会貢献活動の取り組みについては、CSR情報から検索できます)

事務局だより

総会も終わり、各事業が本格的に動き出しています!「第8回パートナーシップ大賞」の募集もスタートしました。約半年先になりますが、最終審査にぜひご参加ください。

また、新たな事業を開拓すべく、スタッフそれぞれが企画応募に励んでいます。スタッフの熱気なのか、事務所内も真夏の野外に負けず熱い毎日です。(私事で恐縮ですが)最近ウォーキングを始めました。持久力をつけて、本年度も乗り切りたいと思います。(松橋)



募集

人と人を結ぶ仕事を始めたい方へ 第2弾

「社会的事業コーディネーター養成科」受講生募集!

現在好評開講中の講座(2~8月)の第2弾として「社会的事業コーディネーター養成科(9月開講)」の受講生募集が始まりました。「地域に役立つ活動をしたい」「コーディネート・スキルを身につけたい」という方にお薦めの講座です。

講座期間は、9月12日~2012年3月16日の半年間(講座日数100日間)。現在失業中・離職中の方が主な対象であり、国の雇用対策として行うため、受講無料です。

受講生の募集は8月9日まで(二次募集実施の可能性もあり)。また、講座説明会を7月13日・27日の2回実施する予定です(池下ピアザにて、要予約)。詳細は同封のチラシ、またはPSCホームページにてご覧ください!(松橋)

PSC Report 8 Vol.78 パートナーシップ・サポートセンター



発行 特定非営利活動法人 パートナーシップ・サポートセンター(PSC) 〒464-0067 名古屋千種区池下1丁目11番21号 サンコート池下4F TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407 E-Mail info@psc.or.jp URL http://www.psc.or.jp 発行人・岸田眞代

応募締切 7月31日!! 協働を推進している企業・NPOのみならず、奮ってご応募を! 第8回パートナーシップ大賞

- 募集期間: 6月1日(水)~7月31日(日) 募集要項と応募用紙は、PSCのホームページからダウンロードしていただけます。 ● お問い合わせ: 第8回パートナーシップ大賞募集係 (052-762-0401)

【最終審査・表彰式】 11月26日(土) 13時30分~ 名古屋国際センター 別棟ホール ※最終選考まで残った6事業による最終プレゼンテーションをご覧ください、会場投票にご参加いただけます。



The 8th Partnership Award 2011 第8回パートナーシップ大賞

経済産業省「経済団体(等)を巻き込む「SB&企業の連携」推進事業」

PSCが推進してきた企業とNPOの協働・連携ノウハウを全国に展開!

2011年度の経済産業省補助金事業、ソーシャルビジネス・企業連携支援機能強化事業として、PSCの「経済団体(等)を巻き込む「SB&企業の連携」推進事業」が全国29件の応募の中から採択されました。「パートナーシップ大賞」はもちろん、「企業&NPO協働アイデアコンテスト」や「企業・市民・NPOコラボ400」など、NPOと企業の協働を推進してきたPSCのノウハウを全国に移転・展開しようという事業です。

移転先は、とちぎボランティアNPOセンター「ぼ・ぼ・ら」(とちぎ協働デザインリーグ)(栃木県)、ソーシャルコーディネートかながわ(神奈川県)、Mブリッジ(三重県)、きょうとNPOセンター(京都府)、ひろしまNPOセンター(広島県)の5カ所に決定。 本事業には「パートナーシップ大賞」の運営委員5名が、移転のためのマニュアルづくりや実践指導を行うアドバイザーとして参加。また、事業全体を検証し指導する専門家として、アイデアコンテストを協働開催する経済団体や企業のCSR担当者、大学教授ら5名が参加しています。 5月15日(日)には第1回検討会議、6月26日(日)には第1回集合型研修と第2回検討会議を同時開催。移転先スタッフ、アドバイザー、専門家ら総勢27名が熱心な討議を行いました。(加藤)

移転先は、とちぎボランティアNPOセンター「ぼ・ぼ・ら」(とちぎ協働デザインリーグ)(栃木県)、ソーシャルコーディネートかながわ(神奈川県)、Mブリッジ(三重県)、きょうとNPOセンター(京都府)、ひろしまNPOセンター(広島県)の5カ所に決定。

本年度は、PSCの成功ノウハウをマニュアル化、人材育成プログラムを作成するとともに、集合型研修や実践的なハンズオン支援などを行い、移転先に企業との連携を担うことのできる担当者を各1名以上育てます。次年度には経済団体との協働・連携のもと、「企業&NPO協働アイデアコンテスト」のような事業の開催を目指します。また、移転先地域からパートナーシップ大賞への応募が3例以上となるくらい、本事業の展開を図っていきたくと考



▲6月26日(日)第2回検討会議

PSG 主な活動2011年5月～6月

- 5/9(月) 尾張旭市・市民活動促進助成事業候補選定会議(事業検討)、愛知県社会活動推進課プレゼン、愛知県地域産業課委託説明会
- 5/14(土) 尾張旭市・市民活動促進助成事業候補選定会議(公開プレゼン)
- 5/15(日) PSG会計監査、「SB&企業の連携推進事業」第1回検討会議
- 5/17(火) 愛知県高齢福祉課委託事業説明会、SHD・桃の館本年度事業検討
- 5/18(水) 第1回PSG理事会
- 5/19(木) シニアボランティア会議
- 5/20(金) 「第8回パートナーシップ大賞」審査委員(オルタナ森氏・ソフトバンクモバイル梅原氏)訪問、NNネット総会(東京)、カフェ・アイリス運営会議、SHD・南部薬品CSR委員会
- 5/23(月) なごや環境大学総会
- 5/24(火) SHD・太陽電化工業CSR委員会
- 5/25(水) SHD・真誠社長面談①、NPO/NGO連絡会総会・院内緊急集會参加(東京)
- 5/27(金) 名古屋市来所、東北支援提案(株三五)
- 5/28(土) 第2回PSG理事会、PSG定時総会④
- 5/31(火) 愛知県社会活動推進課委託事業説明会、SHD・二和印刷紙業社長面談①
- 6/1(水) 「第8回パートナーシップ大賞」応募事業受付開始・審査委員長奥野氏訪問
- 6/2(木) 中部電力環境懇談会
- 6/3(金) 北名古屋市訪問(事業提案)
- 6/6(月) 日本NPOセンターCEO会議(～7日、東京)
- 6/7(火) 愛知県社会活動推進課企画書提出
- 6/8(水) 第1回PSG評議委員会③
- 6/9(木) 名古屋市長(委員要請)、SHD・ドライバーサービス社長面談①、損保ジャパンCSOラーニング学生面接
- 6/12(日) おうみ未来塾中間報告会
- 6/13(月) 東海市まちづくり推進事業一次審査、愛知県社会活動推進課提案書プレゼン
- 6/14(火) SHD・桃の館本年度事業検討
- 6/15(水) 明治大学講義、「改正NPO法」の成立傍聴(参院)、「NPO議員連盟」記者会見参加
- 6/16(木) シニアボランティア会議、SHD・南部薬品CSR委員会
- 6/17(金) なごや環境大学(第2回戦略検討会議)、東北被災地視察調査&ボランティア(～19日)
- 6/20(月) 名古屋市長「協働のあり方」を考える市民フォーラム」、社会的事業コーディネーター養成科(9月開講)受講生募集開始
- 6/21(火) カフェ・アイリス運営会議
- 6/22(水) サロン・ド・オランジュ参加
- 6/23(木) 愛知県新しい公共支援事業説明会
- 6/24(金) SHD・桃の館CSR委員会、経産省(中部)来所、北名古屋市訪問
- 6/25(土) 東海市まちづくり推進事業二次審査
- 6/26(日) 「SB&企業の連携推進事業」第1回集合型研修・第2回検討会議
- 6/27(月) 名古屋市長施設指定管理者選定委員会、愛知県多文化共生委託事業説明会
- 6/28(火) SHD・太陽電化工業CSR委員会
- 6/29(水) (株)真誠第1回SHD(従業員)①
- 6/30(木) 愛知県新しい公共支援事業説明会

3 PSG評議委員会

社会の変化に合わせたPSGの役割を再認識

6月8日(水)16:30～、第1回PSG評議委員会を開催しました。評議委員会は、PSG会員の方々の意見や要望を自由にお聞かせいただき、PSGのミッション実現に向けた事業推進につなげることが趣旨です。

今回は、東日本大震災への取り組みや新しい公共支援事業についての情報交換を中心に、「被災地支援をするNPOに対しどんなサポートが可能か明確に提示してほしい」といったNPOのニーズや、CSRについての知見を高める場づくり等、さまざまなアイデアが出され、意見交換は懇親会で最高潮に。NPOを取り巻く社会の変化と中間支援としての役割を再認識しました。

これらを事業として展開するため、事務局スタッフも奮闘中です。(下平)



1 愛知県委託事業

ステークホルダー・ダイアログ(SHD)及びCSR推進による中小企業の活力向上事業

本年度の新規3社決定、本格始動

愛知県委託事業として昨年度より始まったSHD事業。本年度はISO26000の発行を受け、CSRをさらに推進しようと事業名に盛り込み、新たに組み込む企業3社の選定を4月から行ってきました。

県が認めた「愛知ブランド」認定企業や、ホームページなどで調べたCSR推進に熱心な企業に声をかけ、事業説明会を開くなど、さまざまな事業告知活動を展開。問い合わせのあった20社以上の企業と面談を行いました。選定審査は各企業の評価を数値化して厳正に行い、次の3社に決定させていただきました。

二和印刷紙業(株)	<名古屋>	印刷業
(株)真誠	<北名古屋市>	食料品製造業
(株)ドライバーサービス	<刈谷市>	車両運行管理業

このPSGレポートが発行される頃には、各社とも1回目のSHDが行われる予定。3社とも改善意欲が高い企業ばかりで、白熱した意見交換が期待できそうです。(平野)



名古屋市の「ECO35」で開催される岸田代表の事業説明会。中央は事業概要を説明する岸田代表。

2 中央職業能力開発協会委託事業

社会的事業コーディネーター養成科

講座修了まで約1ヵ月！インターン研修を経て、事業計画/小論文作成へ

5月末から6月にかけて、9日間のインターン研修(現場実習)を実施しました。今回ご協力いただいたのは、NPO中間支援組織を含む7団体(すべて愛知県内)です。団体ごとに研修内容を作成し、資料作成・書類整理、会議同行、取材・レポートなどを行いました。

研修後に実施した「成果まとめ・ふりかえり」では、「スタッフや関係者間でのコミュニケーションの重要性を感じた」「細かな仕事の積み重ねによって活動全体がよりよく進んでいくことが分かった」といった感想が出されました。

講義だけでは分からない現場の空気を肌で感じることができ、それぞれの受講生にとって貴重な経験となったようです。

今後は、事業計画または小論文の作成を通して、自分の想いを明確にし、今後やりたいことを具体化していきます。2月から始まった本講座も、残り約1ヵ月。これまで学んできたこと、考えてきたことが「カタチ」になるよう、サポートしていきます。(松橋)



▲(N)岡崎まち育てセンター・りたでの研修の様子。担当スタッフの方と真剣に打ち合わせをしています

4 2011年度PSG定時総会&交流会

2010年度事業報告などのすべての議案を承認

5月28日(土)13:30より、2011年度PSG定時総会を開催しました(会場・ウィルあいち)。会員97名(出席30名、委任状67名)が参加。木村敏正理事を議長に選出した後、2010年度の事業報告及び決算報告、2011年度事業計画(案)及び予算(案)、新役員信託等の審議が行われ、いずれも承認されました。

総会後は小林宏之理事の講演、アピールタイム、交流会と続きました。交流会はイタリア料理。少し緊張気味にスタートしましたが、ワインが運ばれた頃にはみなさん賑やかに…。お店のオーナーを囲んで、笑顔いっぱいの記念撮影で締め切りました。

PSGも大所帯になり、報告事項も盛りだくさん。進行の木村議長をハラハラさせてしまいました。次回は議長が安心できるようにしたいものです。(薄木)



PSG定時総会講演会

地域シンクタンク・CIRACの事業を紹介 小林宏之理事

定時総会后、同会場で開催した講演会では、PSG理事でもある(財)中部産業・地域活性化センター(CIRAC)専務理事の小林宏之氏に「中部圏の課題とCIRACの役割」と題してお話いただきました。

小林氏は「中部圏」の定義から、中部圏でのインフラ開発整備の歴史、そして将来像の策定に向けた課題などを紹介。それらを踏まえ、CIRACが「広域中部圏に関する総合的・中立的な地域シンクタンク」をミッションに取り組んでいる事業(調査研究等)を分かりやすく説明されました。

PSGとは「企業&NPO協働アイデアコンテスト」の協働事業などで関わりの深いCIRAC。中部広域9県を対象エリアとする産・官・学連携の中立的な総合研究機関として、産業経済の発展や地域の魅力づくりに資するさまざまな事業を展開されています。講演会参加者はメモをとるなどして熱心に聴き入り、あっという間の1時間15分となりました。(木内)



新理事着任挨拶 日本労働組合総連合会愛知県連合会副事務局長 山本昌弘氏

前任の山口に替わり理事に就任させていただきました。勤労者・生活者の視点でPSGの活動に携わっていきたくと思っています。また、みなさまと一緒に勉強させていただき、PSGの活動にもお役に立てればと思います。



PSG代表岸田の「東へ西へ」(2011年5月6日)

5月の連休は例年通り娘たちのいる上海で過ごし、西安へも足を伸ばして中国の大いなる歴史を感じてきた。帰国するやいなや経済産業省の事業(「SB/CBと企業の連携推進事業」)が本格稼働し始め、5/15(日)には第1回検討会議を開催(1面参照)。

5/18(水)には総会に向けての理事会。5/20(金)は東京出張で「第8回パートナーシップ大賞」の審査委員お二人を訪問し、夕方からはNNネット総会に出席。5/23(月)はなごや環境大学の総会。5/24(火)は2年目に入った太陽電化工業のCSR委員会が本格稼働(6/28第2回)。5/25(水)、5/31(火)と本年度中小企業コンサルの新規企業の社長面談が続く。(6/9(木)刈谷市の企業を加えて3社の足並みが揃った)。5/28(土)はPSG理事会と午後からは定時総会。スタッフが増え、その分私の番が最小限で済むのはとても喜ばしい。

6/1(水)には「第8回パートナーシップ大賞」審査委員長を依頼している奥野氏を中央大学理事室に訪問。6/2(木)は中部電力環境懇談会に出席し、原発問題などホットな話題に議論が集中。6/3(金)には新しい公共支援事業を視野に北名古屋市を訪問。6/6(月)～7(日)はNPO支援センターCEO会議に出席(東京)。6/8(水)には懸案だったPSG評議委員会がようやく実現し、理事会とは趣を異にする意見交換ができた。6/12(日)おうみ未来塾中間報告会で滋賀県大津市へ。6/15(水)には「改正NPO法」の成立を参議院本会議で傍聴し、その直後の「NPO議員連盟」(加藤紘一氏、辻本清美氏ら6議員)との記者会見に参加(4面参照)。午後

2011年度の主な事業決定!

NPOと企業の協働推進、NPO視点によるCSR支援に重点を置き、さらなる協働推進で「新しい公共」の中心へ向かうことを目指します。

1. 「パートナーシップ大賞」事業
 - 1) 第8回パートナーシップ大賞 募集、審査、表彰式、運営委員会の開催 他
 - 2) 事例集の作成 (第7回パートナーシップ大賞事例集)
2. コラボレーション事業
 - 1) 第6回企業&NPO協働アイデアコンテスト
 - 2) 経済団体(等)を巻き込む「SB&企業の連携」推進事業 他
3. コーディネート事業
 - 1) なごや環境大学
 - 2) 「新春交流会」の開催 他
4. コンサルティング事業
 - 1) ステークホルダー・ダイアログ及びCSR推進による中小企業の活力向上事業
 - 2) 三井住友海上「NPOカフェ・アイリス」支援
 - 3) NPO・企業・行政各種相談・学習会
5. 教育啓発事業
 - 1) 緊急人材育成支援事業「社会的事業コーディネーター養成科」
 - 2) その他講師派遣等
6. 調査研究事業
 - 1) 被災地域の協働調査などを予定
7. 情報発信事業
 - 1) 「PSG Report」の発行 (奇数月1日発行)
 - 2) ホームページの運営&メールマガジンの活用
 - 3) 各種報告書・ポスター・リーフレット等の発行
8. 提言活動
 - 1) なごや環境大学(実行委員)、淡海ネットワークセンター「未来塾」(運営委員) 他

からは明治大学の学生ら80名を前に「NPOと企業の協働の可能性」について特別講義。6/16(木)は岡崎市にて南部薬品CSR委員会。6/17(金)はなごや環境大学の初の戦略会議に出席し、その夜11時、東京から東北に向けての「民ボラ・バス」に同行したスタッフとともに乗り込んだ。

翌6/18(土)は3.11後100日目。朝6時半に岩手県遠野市に到着し、「第6回パートナーシップ大賞」の入賞団体でもある遠野山・里・暮らしネットワークの菊池新一氏と遠野ドライビングスクール(本社・陸前高田市)の篠原魁氏からその後についてヒアリング。後方支援の重要な役割を果たしていることを改めて確認した(直後に届いたお手紙を4面で紹介)。

午後には大槌町へ。目的はがれき撤去と足湯のボランティア、それに慰霊の法要と続き、夜には現地の人等から話を聞いた。翌日曜日は東北支援のあり方などを参加者20数名で検討した。

6/26(日)には経済産業省事業の移転先の方たちへの集合型研修と第2回検討会議。

6/29(水)にはいよいよ本年度新規中小企業コンサルの1回ステークホルダー・ダイアログが(株)真誠で始まる。(2011.6.22 岸田眞代)



▲参議院本会議にて「改正NPO法」成立傍聴後